



海洋国日本の災害医療の未来を考える議員連盟 視察日程（案）

計画：公益社団法人モバイル・ホスピタル・インターナショナル

砂田向壺

視察日時（予定）：令和元年6月3日（月） 14:00～17:30

視察日程：①14:00～15:00 海上視察 TOKYO 2020 オリンピック湾岸会場

②15:15～17:30 昭和大学江東豊洲病院視察・意見交換

視察概要（案）

目的：災害時等における船舶を活用した医療提供体制の整備の立法化を推進する議連として、平時から人材の育成の整備と並行して、迅速な医療提供のためにシームレスに活動できる拠点の一体的システムの構築は喫緊の研究課題である。そこで海に面して人口集中等の発展目覚ましい江東区域の実情を知るため、東京オリンピック・パラリンピック2020開催の湾岸エリアのインフラ整備の現状を、海上視察を通じ我が国の災害医療の未来に供する考察を深める。

視察：①昭和大学江東豊洲病院 許可病床数309床（一般病床161床）診療科 内科 小児科 外科 整形外科 眼科 泌尿器科 放射線科 麻酔科（昨年4月現在）。病院の案内だけでは普通の病院と変わらない。平成23年江東地域で仮称）昭和大学新豊洲病院整備運営協議会が設置され誘致された経緯で現在がある。中でも特筆すべきは、広大な旧雑貨ふ頭岸壁（所管東京都港湾局；未利用）に面した全国の大学病院唯一の立地性が認められる。水域アプローチの可能性を有し、非常事態時には船舶を接岸して電力を病院内に取り込む送電システムは、国内唯一の病院施設であることから当該病院及び岸壁を視察することで更に考察を深め、今後の参考とする。

（次頁の岸壁写真別図2）参照）

③視察を終えて意見交換・会議名：海洋国日本の災害医療の未来を考える議員連盟視察会議（案）

・開催日時：令和元年6月3日 集合午後3時 開会：午後3時15分～

・開催場所：**昭和大学江東豊洲病院 9階講堂**・出席者（挨拶予定）

山崎孝明（東京都江東区長）

額賀福志郎（海洋国日本の災害医療の未来を考える議員連盟会長・衆議院議員）他、議連自公幹部議員

有賀 徹（独立行政法人労働者健康安全機構理事長・学校法人昭和大学 名誉教授

公益社団法人モバイル・ホスピタル・インターナショナル理事）

新井一成（学校法人昭和大学 理事（昭和大学江東豊洲病院 担当理事）

1）講演 TOKYO2020危機管理について（警察関係者調整中）

2）現場視察（接岸艇からの電力供給の実際）

刑部真弘（国立大学法人東京海洋大学海洋電子機械工学部門教授）

別図 1) ①海上視察コース案



別図2)

②昭和大学江東豊洲病院



岸壁ライン

別図2) ②昭和大学江東豊洲病院



岸壁

東京都港湾局

議連議員主要幹部メンバー

会 長：額賀福志郎・元財務大臣・自民党東日本大震災復興加速化本部長・衆議院議員
副会長：加藤 勝信・自民党総務会長・前厚生労働大臣・衆議院議員
幹事長：遠山 清彦・公明党幹事長代理・衆議院議員
副幹事長：新谷正義・厚生労働大臣政務官・衆議院議員（自民党）
副幹事長：福岡資麿・自民党政務調査会会長代理・参議院議員
副幹事長：横山信一・元農林水産大臣政務官・参議院議員（公明党）
事務局長：津島 淳・元国土交通大臣政務官・衆議院議員（自民党）

注意）国会開会中につき視察議員は現段階では員数未定です。予めご了承下さい。